



SFPE・J ニュース 6号

2003年3月31日
第2巻第2号(通巻6号)

Society of Fire Protection Engineers

Japan Chapter News

本号のハイライト

1

・SFPE日本支部
総会結果概要報告

2

・シンポジウム開催結果
報告

3

・札幌駅南口総合
開発ビル・札幌ドーム
防火見学会概要報告

4

・理事会の開催結果

執筆

[笠原

・矢代・堀田]

防火技術者協会日本支部
(略称:SFPE 日本支部)の
情報をお知らせします

1. SFPE日本支部 総会結果概要報告

防火技術者協会日本支部の2003年
総会が、1月30日に建築会館で
開催された。

時 間:1月30日(木)

13:00~14:30

場 所:建築会館 3階302号室

参加者:会員 18名

委任状 2名

ワザ-バ- 9名

資 料:防火技術者協会日本支部
総会資料

(1)総会成立の確認

(司会:富松副支部長)

総会定足数15人に、20人

(委任状2人含む)出席により

総会成立が報告された。

(2)会員会友リストの報告

(笠原総務理事)

総務理事より会員会友のリス

トについて報告された。

(3)年間事業報告

総務理事より2002年度事業

報告がなされ、確認の上、承認
された。



総会の状況

(4)決算報告

(上原会計理事)

2002年度決算報告について
会計理事より収入、支出、正味
財産について報告され、確認の
上、承認された。

引き続き2003年度予算が報
告され、確認の上、承認された。

なお、2003年度は、繰越金
があるため、新規会員のみ支部
会費を徴収することが承認された。

(5)2003年度年間活動計画

総務理事より年間活動計画が
報告された。

意見が出された。

事業は2回に限らず、適切な機
会をみつけて実施すること。

2回に限らず実施するので会
員からの提案をお願いする。

防災計画などに関する事例の見
学会については、参加できない
会員もいるのでその調査報告概
要をSFPE-Jニュースなどに掲載
してほしい。

事業はそれぞれ独立採算性か?

原則として独立採算とし、赤
字にならないように実施する。
会員名簿では、個人情報の公開
範囲をアンケートにより問う。

(6)SFPE入会案内

副支部長から行われた。入会
申込書の簡素化を図った。

(7)セミナー、見学会案内

副支部長より、今後実施する
セミナー、見学会の説明が行わ
れた。

以上で、総会は終了した。

なお、NPO法人設立について、
検討し、2003年内での認可に向け
て日程等も議論された。

2. シンポジウム開催 結果報告

防火委員会・SFPE-Jシンポジウム
防火技術者の職能と性能設計

1月30日SFPE日本支部の総会
後に、建築学会防火委員会の主催、
SFPE日本支部協賛のシンポジ
ウムが41名の参加により開催され
た。その概要を報告する。

時 間:14:30~17:00

場 所:建築会館302・303号室

参加者:学会会員 35名

非会員 6名

日本建築学会防火委員会、防火
性能技術WGの佐藤主査より開催
の趣旨説明の後、3名の講演者
による講演および討論が行われた。

(1)米国の性能規定化の動向と職能
Fire Protection Engineering and
Performance-Based Code in the
USA

Morgan Hurley, PE (Technical
Director, SFPE)

Morgan氏の略歴は、ミラランド大学
で防火工学科卒業、マスターコースを出て、



SFPE (米国本部) への申請をお手伝いします
 SFPE 日本支部へは誰でも入会できます
 SFPE 日本支部会友を募集しています。

設計事務所、沿岸警備隊で PE としての経歴後、SFPE の本部にテクニカルディレクターに就き今日に至っている。



Morgan Hurley 氏の講演

同氏の講演は、米国には地域性を持った複数の基準があるが、数ヶ月前にできた ICC (Interaction Code Council) のパフォーマンスコード、NFPA5000 のビルディングコード及び NFPA101 のライフセーフティコードを関連づけて米国における性能規定のコードの現状について講演された。

(2) 日本における性能設計現状 (建築 原田和典 (京都大学助教授))

建築基準法第 38 条認定時代の性能設計、建築基準法改正の要点、性能設計の現状及び将来展望について講演された。

性能規定により避難関係は、増加傾向にあり、コストは、排煙に関するものがほとんどである。設計法の工夫と啓蒙、法令だけではなくガイドライン等、技術者の拠り所の整備が及び設計及び審査に関する技術者教育の機会を増加することを強調された。



原田和典氏の講演

(3) 「消防総プロ」の取り組みの概要と総合的防火性能評価のフレームワーク

- 消防用設備等の性能規定化 -
 関沢 愛 ((独)消防研究所研究統括官、現東京大学教授)

消防総プロ登場の背景、建築防火安全に関わる消防的対策の特徴、消防総プロの取り組みの概要、総合的防火性能評価のフレームワーク、初期拡大抑制性能・避難安全性能・消

防活動支援性能等について講演され、今後、これらの具体化への取り組みが行われている現状を紹介された。



関沢 愛氏の講演

3. 札幌駅ビル・札幌ドーム 防災見学会開催結果

SFPE 日本支部では、SFPE 事業として 2 月 24 日(月)に札幌において見学会を実施しました。

日本防火技術者協会の主催により、火災安全性の性能設計により実現した最新の建築物である札幌駅南口総合開発ビルと札幌ドームを見学しました。

冬期の札幌ドームでは、その防火・防災上のポイントを把握しました。

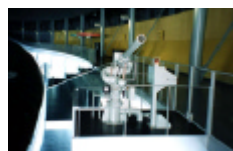
札幌ドーム 9:30~11:30

参加者: 14 名

札幌ドームは、昨年のワールドカップの会場として使用され、天然芝を屋外・屋内で移動する特徴があり、また、プロ野球の日本ハムのフランチャイズとなることが決定している。一般の見学コースに併せてホーレン(株)の石田氏の説明による放水銃システム等の見学を行った。



札幌ドームの外観



放水銃システム

札幌駅南口総合開発ビル

13:30~16:30

参加者: 14 名

札幌駅南口総合開発ビルは、鉄道駅、専門店、映画館、百貨店、事務所、ホテル、駐車場と大規模な複合用途建築物で、札幌シネマコンプレックス(シネマ)部分は、すでにオープンし、3月6日のオープン(ホテルを除く)前の最終準備中、関係者のご尽力により見学会を実施できました。

多くの方のご協力により見学会を実施できましたことを心から御礼いたします。

現場事務所の会議室において、SSP 設計室の川瀬様により、13:30 から約 30 分概要説明の後、センター工区建築 JV の清水建設の白田所長、他によりホール部分を除き、JR タワー、札幌シネマプレイス、大丸札幌店等の現場見学を 16:00 まで行いました。

特に、シネマでは、営業中にもかかわらず、防火上の運用も含めて事細かく見学をさせていただきました。当ビルは、旧建築基準法第 38 条適用の最末期の事例になります。水平避難・避難デッキ、区画のないアトリウムなどの工夫をおこなっている。

見学後の性能設計上の質疑応答及び意見交換を行い、16:30 解散となりました。



設計者による建築概要の説明



札幌 JR タワーの外観

4. 理事会の開催等

理事会は、以下の日に開催した。

- ・ 1 月 7 日(火)15 日(水)総会準備
- ・ 1 月 30 日(木)総会
- ・ 2 月 13 日(木)総会総括等
- ・ 3 月 25 日(火)定款改正検討等